

科目名	社会福祉と法 Social Welfare and Law						
科目担当者	矢鋪 渉 YASHIKI Wataru						
単位数	2	配当年次	2年	授業形態	講義	開講学期	前期
履修学部・学科 [区分]	法学部・法律学科 [専門教育科目 専門科目] 経営学部・経営学科 [専門教育科目 関連科目]				ディプロマポリシーとの関連	(3)(4)	
授業の概要	<p>社会福祉とは、日常生活において困難なところがある人々（生活困窮者、高齢者、障害者等）に対する公的な支援の仕組みです。社会福祉の内容は、国の経済発展、財政状況、生活水準、家族観など時代にもない変化していきます。</p> <p>この授業では、社会福祉の意義や歴史的展開、方法などを概観し、その上で、具体的な社会福祉制度について解説します。</p>						
授業の到達目標	<p>① 社会福祉の意義について理解し、説明できること。  ② 社会福祉制度の展開について理解し、説明できること。  ③ 社会福祉制度の基本構造および各制度の特徴について理解し、説明できること。  ④ 社会福祉関連の報道ニュースに接したとき、問題の箇所が推測できるようになること。</p>						
授業計画・内容	1	社会福祉ガイダンス。社会福祉の意義。					
	2	社会福祉サービスの原像、「障害」の定義。					
	3	わが国の社会福祉法制の歴史（1）					
	4	わが国の社会福祉法制の歴史（2）					
	5	社会福祉の責任論。責任主体、法的根拠。					
	6	社会福祉の構造。利用者（支援を必要とする者）、サービスの形態、サービスの供給主体。					
	7	社会福祉サービスの供給方。「措置」と「契約」。社会福祉契約論。					
	8	社会福祉の財政・費用負担。社会福祉の費用、福祉施設の建設、施設の運営費、運営費の負担。					
	9	社会福祉法の体系					
	10	高齢者福祉					
	11	児童福祉					
	12	低所得対策・最低生活保障。生活困窮者自立支援法、生活保護法。					
	13	権利擁護の法。社会福祉サービス事業者および運営適正化委員会による権利擁護と苦情処理。					
	14	虐待防止法。現状と虐待防止法制					
	15	まとめ					
授業外学修 (事前学修)	<ul style="list-style-type: none"> <li>予習として、教科書の該当箇所を読む（毎週 60 分程度）。</li> <li>福祉関連情報をチェックする。（毎週 60 分程度）。</li> </ul>						
授業外学修 (事後学修)	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書、配布資料を見直し、理解を深める。</li> <li>授業で紹介した参考文献等を参照し、社会福祉に関する理解を深くする（15 時間程度）。</li> <li>小テストやレポート課題に取り組む（60 分程度）。</li> </ul>						
成績評価方法・ 評価比率・到達 目標との対応	成績評価方法				評価比率	到達目標との対応	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>小テスト</li> <li>レポート課題</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 35%</li> <li>・ 65%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① ② ③</li> <li>② ④</li> </ul>	
成績評価基準	<p>秀：（評点 90 点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合  優：（評点 80 点～89 点）到達目標を高い水準で達成している場合  良：（評点 70 点～79 点）到達目標を一定の水準で達成している場合  可：（評点 60 点～69 点）到達目標を最低限の水準で達成している場合  不可：（評点 60 点未満）到達目標に達していない場合</p>						
教科書	山田晋『社会福祉法入門』（法律文化社、2022）						
参考文献	講義中に紹介いたします						
その他							